

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年2月4日(土)午前10時～11時30分  
場 所 亀久保分館（亀久保北町会）  
参加者 23人



### 主な意見等

参加者 高齢化が進むにつれ単身高齢者が増えていて、防災・健康・コミュニケーションが課題になっています。地域と行政との協力だけで地域力を付けていくのは難しく、地域の企業をはじめとした一般企業の持つ力が有効になるのではないのでしょうか。企業との包括連携をもう少し積極的に実施して発信したら、地域活動のヒントになると思います。ふじみ野市は学校との協定は組まれています。企業との協定が少ないと思います。

市長 地域コミュニティの高齢化が進み、ふじみ野市の高齢化率は25～26%程度で、県や全国の平均より抑えられていますが、毎年お年を召した方は増えています。地域活動をするにも、前向きな人ばかりではないので、どなたかが旗振り役にならなければいけません。学校等との関係がクローズアップされていますが、現在生命保険会社や金融機関など、企業の持つ研究機関や情報の収集力を地元で生かしていく取組を進めています。それを町会単位で落とし込み、企業の力を入れていくことは私の政策としてもありがたいご意見だと思います。企業には得意分野がそれぞれあると思いますので、私としても力を入れていきたいです。

参加者 シルバー人材センターの近くの調整池の周辺に、桜通りと旧川越街道の抜け道が数本あり、特に朝晩の車が多いです。周辺は多くの高齢者が自転車に乗っていますが、車が止まらないので、ひっかけられての事故等があるという話を聞きます。

市長 抜け道になっていることは、把握しています。生活に使っている方もいるので規制をかけるのは難しいと思います。また、一方通行にするとすれ違いがなくなるので車が増えたりスピードが上がったりもします。一方通行にすると警察もなかなか戻せないなので、慎重に考えなければならない課題だと思います。スピードを落としてくださいという看板や路面標示など、対応を考えるよう担当課に指示します。

参加者 この辺の地区の畑の土がこの季節になると舞い上がってしまいます。風なのである程度我慢しなければいけないのですが、畑から道路に出ている土も多く、それが道路に出てきてしまってその土埃が舞って困っています。畑に土がこぼれないようなものを作るように行政から指導はできないですか。

市長 農家の方が自発的に努力いただくということが原則になります。農業をやっている方も土がこぼれないように、雨で流れていかないように努力はされているようです。そのための補助はないですが、農家の方に財政支援はしています。農家の方にとって土は大事なもので、こぼれてほしくないと考えていると思います。住宅と共存共栄する地域でもありますので、タウンミーティングでそういった声があったと農業委員会などを通じて、農家の方には伝えていきます。強い指導ではありませんが「何とかしていこう」と伝え、行政として何か支援できるか考えていきたいと思っています。

参加者 亀久保神社の裏の道は、以前は歩行者も車も全て川越街道に出られていたので混んでしまい、お年寄りが安心して横断歩道を渡れませんでした。今は、一方通行になって車が通れなくなり、神社の前の道が混むかと思って心配していたのですが、それほど混んでいないです。車は通れないと分かっているようで遠くを回っているようで、お年寄りも安心して渡れるようになって良かったです。

市長 道路の一方通行が一定程度定着して車もうまく流れているということで、良かったです。今後も地域のお話を聞かせてもらえるとありがたいです。

参加者 亀久保神明神社北側の一方通行の標識が分かりにくく、抜けていく車が多くあります。もう少し分かりやすくできないですか。

市長 標識の設置場所の問題があります。見やすく改善できる方法があるか、どんな案内が可能か調べさせていただきます。

参加者 自転車道として最近ブルーの矢羽根表示が増えています。もう少し増やしてもらいたいと思います。高齢者は自転車に乗ると、どうしてもふらついてしまうので、車道を走れと言われても危ないです。

市長 自転車は原則、車両ということで車道を走ることになっています。可能な範囲で拡大したいのですが、それだけの幅員があるところに限られてしまいます。できるところは、増やしていきたいと思います。

参加者 市長の説明の中で成年後見人の話がでていましたが、一人住まいの高齢者がどんどん増えています。家に居ても鬱になってしまうということで、電話もしょっちゅうあります。一人暮らしをしている方でも、その窓口に行けば自由に後見人制度を使えるものなののでしょうか。

市長 まずは相談してもらって、その人にどんな支援ができるかということになります。後見人ではなく、生活上のことであれば市役所でも相談ができますし、社会福祉協議会につなぐこともできます。今後、手続きをすることができなくなる、判断ができなくなったりすると、後見人を付けて財産の管理をしてもらう必要が出てきます。後見人が何をしてくれるのか、一般の方はわからないと思います。その相談に応じていくのが成年後見センターになりますので、ぜひご案内いただければと思います。

参加者 町会としては事業を一生懸命やっていますが、3年間懇親会をする場

がなく、飲食や歓送迎会ができていません。そういう席で本音の話ができると思います。毎年、役員が順番に半分入れ替わっていきますが、打ち解けた話が出ていません。どうしていけばいいのか悩んでいます。

市長 世間の風潮も大分変わってきて、飲食の機会が増えているようです。学校でもマスクを外す議論が始まったり、皆さんの感染症に対する認識が初期に比べて高まってきていることなどをトータルに考えて、国は屋内でもマスクを外す議論をはじめました。市でも、1年程働いた新入職員とのランチミーティングができていませんでしたが、最近、お茶を飲むような形のティーミーティングとして再開しました。市内のさまざまな行事についても、極力実施する方向で考えるように指示も出しました。これからは「私も参加しよう」というような機運になってほしいと思っています。「正しく恐れろ」という言葉がありますが、根拠のない考え方をするより、リスクをどれだけ無くすかという考え方で実施するのがいいのではと思います。

参加者 職員に対して約束を守ることを徹底してもらいたいです。具体的な内容は控えますが、住民に対しての真摯な態度を忘れないように職員の皆さんに改めて伝えてもらいたいです。

市長 職員がうっかりしてしまったのか、心無い対応をしてしまったのか、または、誤解を与える伝え方をしてしまったのかもしれない。職員も発信の仕方が悪く、誤解だとしても伝え方に反省点があることもあります。いずれにしても、住民の方、相手があつてのことですので、話の中でご意向に沿えない形になってしまったことが事実だと思いますので、その点については本当に申し訳なかったと思います。全職員に対してということでしたので、私も幹部会で伝えてまいります。このような発言をさせることがないような行動にしていくことをお約束いたします。ご配慮いただき、ありがとうございました。

タウンミーティング後に追加された意見

参加者 周辺の畑から舞う土埃が多く、家の中に土が積もってしまいます。畑

なので難しいということも分かっている、どうにかしてほしいということではありませんが、少しでも改善できたらうれしいなと思います。

(担当課) 2月16日に現地確認したところ、道路に出ていた土は概ね無くなっていたため、農地所有者を訪問したところ、自発的に掃除をしたとのことでした。

所有者自身も土の流出や土埃を危惧しており、今後土留めの設置や春秋の風の強い時期の作付けなど、対策を模索しているようです。引き続き適正な農地の管理に協力いただけるよう、お話をしました(大井中央三丁目26-5他。業務スーパーふじみ野店西側農地)。